

調布市教育大綱と一体的に示した5つの連携テーマの取組状況について

調布市教育大綱 5つの連携テーマ

市長部局と教育委員会が連携した取組

■連携テーマ1
子どもたち一人一人に応じた教育及び支援の充実

基本的な方向性

いじめや虐待、不登校、問題行動、貧困問題など、子どもたちを取り巻く諸課題への対応に向け、子どもたち一人一人に応じた教育及び支援の充実に取り組みます。

主な取組	取組実績（令和元～4年度）
○いじめ防止対策	・いじめはどの学校にも起こりうるものと認識したうえで、調布市教育委員会いじめ防止対策基本方針に基づく「未然防止」「早期発見」「早期対応」「重大事態への対処」を念頭に、庁内外の関係機関と連携した組織的な取組を推進 ・市長部局と教育委員会が連携して、いじめ・児童虐待防止に向けた市長メッセージ動画を市HPで配信
○不登校児童・生徒への支援	・適応指導教室「太陽の子」の大町スポーツ施設内への移転による教育環境の充実 ・不登校の児童・生徒に対する訪問型支援の実施
○子ども若者総合支援	・家庭の事情等により、進学や就職をあきらめてしまうことがないように、相談・学習支援・居場所事業を実施 ・子ども・若者支援地域協議会の活動を継続的に推進し、福祉健康部や子ども生活部等と教育委員会の連携による支援の充実
○特別支援教育	・幼・保・小連携推進委員会を実施し、就学支援シートや保育要録等の活用などによる円滑な移行支援を実施 ・小・中学校における特別支援教育について、幼稚園・保育園への周知・啓発を実施
○ICT環境の整備	・児童・生徒1人1台のモバイル端末の貸与をはじめとするICT環境の整備による授業の充実

■連携テーマ2
安全・安心な学校づくりの推進

基本的な方向性

防災教育や食物アレルギー対策の推進、通学路等の安全対策など、子どもたちの安全確保に関わる取組を実施し、安全・安心な学校づくりを進めます。

主な取組	取組実績（令和元～4年度）
○防災教育	・「調布市防災教育の日」において、市長部局や関係機関と連携し、命の尊さ、大切さを考える授業や防災訓練等を行い、児童・生徒や地域の自助・共助の意識の醸成、災害対応能力の向上など、防災教育を推進
○食物アレルギー対策	・給食室の改修工事に合わせ、アレルギー対応専用調理室を計画的に整備 ・食に関する検討委員会、医師会との会議、慈恵第三病院・柏江市との連携による適切なアレルギー対応の継続 ・アレルギー事故が風化することのないよう、事故防止と緊急対応を柱とする再発防止に向けた取組の継続的な推進
○通学路の安全確保	・学校・警察・道路管理者等とともに通学路において危険と思われる箇所を点検し、可能な安全対策を実施 ・通学路への防犯カメラの増設
○感染症対策	・市長部局の動向と連動して策定した「調布市立学校における持続的な学校運営のための感染症予防ガイドライン」に基づく教育活動の継続

■連携テーマ3
学校施設の整備の推進

基本的な方向性

学校施設の老朽化・長寿命化対策など、だれもが安全・安心に利用することができるよう、施設の整備を進めます

主な取組	取組実績（令和元～4年度）
○小・中学校施設の整備	・「調布市公共施設等総合管理計画」や「調布市学校施設整備方針」等に基づく学校施設の計画的な整備・更新 ・35人学級編制標準引下げ等に伴う不足教室対策としての校舎増築工事の実施 ・全小・中学校の体育館への空調設備整備の完了やICT環境の整備などによる学習環境の充実や避難所機能の向上 ・調布市立若葉小学校・第四中学校及び図書館若葉分館施設整備基本構想の策定

■連携テーマ4
学校・家庭・地域の連携による教育支援

基本的な方向性

学校・家庭・地域が子どもの教育に関する情報や目標を共有し、互いに意見交換しながら、それぞれの役割と責任に基づき、三者の連携によって学校教育を支援・補完する施策を展開します。

主な取組	取組実績（令和元～4年度）
○地域学校協働本部	・地域学校協働本部の全小・中学校への設置による地域人材を活用した学校教育活動の推進（令和3年度全校設置完了）
○コミュニティ・スクール	・コミュニティ・スクール導入検討委員会の設置・開催（令和5年度から3校でモデル実施）
○社会教育分野における取組	・青少年問題協議会、青少年補導連絡会、健全育成推進地区代表者連絡協議会等を通じた、多様な事業実施による地域ぐるみでの青少年健全育成の推進 ・リーダー養成講習会等を通じた地域で活躍できる人材の育成 ・感染症対策を講じたうえで社会教育施設（青少年交流館、公民館、図書館、郷土博物館、武者小路実篤記念館、八ヶ岳少年自然の家）の運営や、オンラインの活用などによる工夫を凝らした事業の実施

■連携テーマ5
オリンピック・パラリンピック教育の推進

基本的な方向性

オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念等の学習の推進を通して、国際理解を深めるとともに、児童・生徒の運動やスポーツへの関心や親しみを高めるため、オリンピック・パラリンピック教育を推進します。

主な取組	取組実績（令和元～4年度）
○東京2020大会、ラグビーワールドカップに向けた取組	・「調布市2019-2020プロジェクト全体会議」における行政・議会・市内各団体などとの情報共有を中心に、スポーツ振興、産業・観光振興、文化振興、国際交流、平和施策、青少年の健全育成、教育、福祉の充実など様々な角度からの取組を推進 ・東京2020大会開催を契機として共生社会の重要性をこれまで以上に発信する「パラハートちょうふ」の取組推進
○オリンピック・パラリンピック教育	・オリンピック・パラリンピック教育における様々な教育活動を通じた5つの資質（スポーツ志向、障害者理解、ボランティアマインド など）の育成と大会後の学校2020レガシーへの継承 ・国際的なスポーツ大会を契機とした体力向上事業として、プロアスリートによるジュニア陸上体験教室や、学校への陸上出前授業等を実施し、児童・生徒の体力向上に資する取組を推進